スマート・テロワール協会地域活動支援事業参加申込書

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |
| 申込者情報 | 区分 | ◯ 個人　　　● 団体　（どちらかを●に） |
| 団体名 | 1. 株式会社アイディア　②エシカル・テロワール準備室
 |
| 個人名 |  |
| 団体代表者名 | 1. 北風　秀明　②清野　仁
 |
| 住所 | 1. 〒997-0028山形県鶴岡市
2. 〒997-0752山形県鶴岡市
 |
| E-mail |  |
| 電話 |  |
| 活動地域 | 庄内地方 |
| 活動概要 | 自給圏内の消費者・住人へスマート・テロワールの啓蒙。協会主催の講演で紹介された食材を取寄せ「もぐもぐテロワール」として、食べて知る、楽しんでアクションを起こし、仲間を増やす。 |
| 活動詳細 | 目指す姿 | 8章の「個人の利益より、村全体の景観の価値が生む長期的な利益」地域住人の消費活動が農地のゾーニングに寄与し次世代を含めた理想を多くの住人と思い描くことを大目標とし、今年度は4回「もぐテロ」を開催しスタートメンバーを結集する。同時に、消費者が何を購入するとスマテロに協力ができるかを明確化し、商品に表示することで消費活動を活性化する。 |
| 達成時期 | 2026年（松尾さんが庄内で着手した10年を節目） |
| マイルストン | ・今年度8、10、12、2月にもぐもぐテロワール開催・地消地産が一目でわかるエコバック買い物袋をスタートメンバーと福祉事業所と協業し3月まで1000枚作製。・12月まで地元企業を中心に制作費、寄付金を応援するスポンサー企業訪問。・次年度の月山高原等のイベントや地元スーパーで販売。・エコバックがスマート・テロワール啓蒙のツール、一助となっているか検討し、次年度6月末までアクションを決定。 |
| 重点課題 | 専任者が不在の間歇的啓蒙活動の傾向から、どうにか参加者が継続的に結びつく、いつでもアイディアを発信・交換できる場に持ってゆきたい。 |
| 進捗状況 | 昨年度2回開催し、エコバックを利用した地消地産の見える化に対する意見を出した。また、情報を共有する交流サイトも出来た。 |
| 協力者 | 参加者、地元若手料理人、月山高原農地委員会、荘内銀行（交渉中） |
| 総予算 | \700,000　（事業費50万円＋協会本部エコバックスポンサー代20万円） |
| 支援希望形態 | ● 資金支援　◯ 助言支援　◯ 協業支援 |
| 支援希望額 | \700,000. |

* 活動詳細については複数行で入力されても構いません
* 活動内容の理解を深めるための資料がありましたら添付して下さい
* この申込書に記入のうえ、mail@smart-terroir.com 宛お送りください